



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 株式会社日伝 上場取引所 東
コード番号 9902 URL <https://www.nichiden.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 福家 利一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 寒川 睦志 TEL 06-7637-7000
管理本部長
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	67,280	3.6	2,804	△3.7	3,250	7.7	2,190	8.4
2025年3月期中間期	64,944	4.0	2,911	2.0	3,018	△8.1	2,020	△19.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,434百万円（246.0％） 2025年3月期中間期 992百万円（△64.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	74.18	—
2025年3月期中間期	67.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	123,707	88,375	71.4
2025年3月期	121,332	86,231	71.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 88,375百万円 2025年3月期 86,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00
2026年3月期	—	35.00			
2026年3月期（予想）			—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	3.9	6,700	△1.8	7,200	△0.0	4,900	0.2	165.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	30,000,800株	2025年3月期	30,000,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	462,472株	2025年3月期	476,172株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	29,530,499株	2025年3月期中間期	29,987,079株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国の関税政策による生産や輸出への下押し圧力はあるものの、インバウンド需要の拡大や記録的猛暑による特需が幅広い業界に波及し、緩やかな回復基調が見られました。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、米国との関税交渉の進展により、過度な警戒感が和らぎ、生産用機械等に持ち直しの動きが見られました。また、構造的な人手不足に対応するための合理化・省力化に向けた投資は底堅く推移しております。

このような状況の下、第4次中期経営計画『New Dedication2026』～新たな貢献へ～の2年目の取り組みを着実に実行することにより、継続的な成長と持続可能な社会の実現に取り組んでおります。

具体的には、昨年度末に開設いたしました各種AGV(無人搬送車)／AMR(自立走行搬送ロボット)の運行や関連設備との連携を実際に体験できる施設「&N LABO OSAKA EAST 2 SITE」を活用し、将来的な人手不足への対応策として、生産工程のデジタル化とモビリティロボティクス技術を取り入れたソリューションビジネスを推進しております。

組織面では、9月にグループの経営資源の集中と効率化を目的に、株式会社プロキュバイネットを吸収合併いたしました。なお、本合併による業績への影響は軽微であります。

設備面では、7月に手狭となっておりました滋賀営業所を新築移転いたしました。

この結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高672億8千万円(前年同期比3.6%増)、営業利益28億4百万円(前年同期比3.7%減)、経常利益32億5千万円(前年同期比7.7%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、21億9千万円(前年同期比8.4%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23億7千4百万円増加し、1,237億7百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ1千9百万円減少し、802億9千1百万円となりました。これは、現金及び預金が17億4千3百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が4億9千3百万円、有価証券が4億9千9百万円、商品及び製品が4億9千6百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ23億9千4百万円増加し、434億1千6百万円となりました。これは、投資有価証券が10億2千7百万円増加したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億2千9百万円増加し、353億3千1百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億7千6百万円減少し、267億7千6百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加し、85億5千5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が8億6千万円、その他有価証券評価差額金が13億6千4百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ21億4千4百万円増加し、883億7千5百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ15億4千8百万円増加し、165億8千5百万円となりました。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、39億6千2百万円(前年同期において得られた資金16億9千9百万円)となりました。これは主に、法人税等の支払額が11億7千1百万円あったものの、税金等調整前中間純利益が32億6千2百万円、減価償却費が6億1千5百万円、仕入債務の増加額が5億8千万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8億2千4百万円(前年同期において得られた資金19億7千5百万円)となりました。これは主に、有価証券の償還による収入が10億円、投資有価証券の売却及び償還による収入が5億2千7百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が20億9千5百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億4千3百万円(前年同期において使用した資金52億2千8百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が13億3千1百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2025年5月8日の決算発表時に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,557	17,300
受取手形、売掛金及び契約資産	21,932	21,439
電子記録債権	19,908	20,028
有価証券	6,248	5,748
商品及び製品	15,751	15,254
その他	917	523
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	80,310	80,291
固定資産		
有形固定資産	20,771	22,343
無形固定資産		
のれん	2,073	1,979
顧客関連資産	369	348
その他	580	534
無形固定資産合計	3,023	2,862
投資その他の資産		
投資有価証券	15,945	16,972
その他	1,288	1,244
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	17,227	18,210
固定資産合計	41,022	43,416
資産合計	121,332	123,707
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,834	13,219
電子記録債務	10,222	10,051
未払法人税等	1,285	1,149
賞与引当金	620	631
その他	1,989	1,724
流動負債合計	26,952	26,776
固定負債		
退職給付に係る負債	92	94
その他	8,056	8,461
固定負債合計	8,148	8,555
負債合計	35,101	35,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	6,283	6,283
利益剰余金	69,583	70,443
自己株式	△1,398	△1,358
株主資本合計	79,836	80,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,018	7,383
為替換算調整勘定	376	255
その他の包括利益累計額合計	6,394	7,638
純資産合計	86,231	88,375
負債純資産合計	121,332	123,707

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	64,944	67,280
売上原価	55,244	57,135
売上総利益	9,699	10,144
販売費及び一般管理費	6,788	7,339
営業利益	2,911	2,804
営業外収益		
受取配当金	160	197
仕入割引	143	145
その他	84	189
営業外収益合計	388	532
営業外費用		
支払利息	75	71
固定資産処分損	0	3
為替差損	134	—
自己株式取得費用	63	—
その他	8	11
営業外費用合計	281	86
経常利益	3,018	3,250
特別利益		
投資有価証券売却益	5	11
特別利益合計	5	11
税金等調整前中間純利益	3,023	3,262
法人税、住民税及び事業税	998	1,082
法人税等調整額	4	△11
法人税等合計	1,003	1,071
中間純利益	2,020	2,190
親会社株主に帰属する中間純利益	2,020	2,190

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,020	2,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,204	1,364
為替換算調整勘定	176	△120
その他の包括利益合計	△1,027	1,244
中間包括利益	992	3,434
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	992	3,434

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,023	3,262
減価償却費	625	615
のれん償却額	94	94
売上債権の増減額(△は増加)	1,440	314
棚卸資産の増減額(△は増加)	485	464
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,665	580
その他	△395	△374
小計	2,607	4,957
利息及び配当金の受取額	211	247
利息の支払額	△75	△71
法人税等の支払額	△1,044	△1,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,699	3,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△251
定期預金の払戻による収入	1,006	51
有価証券の償還による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△774	△2,095
投資有価証券の取得による支出	△53	△74
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,017	527
その他	△201	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,975	△824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,973	△1,331
リース債務の返済による支出	△180	△196
自己株式の取得による支出	△3,063	—
その他	△10	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,228	△1,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△70
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,536	1,523
現金及び現金同等物の期首残高	13,557	15,037
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	24
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,021	16,585

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、動力伝導機器、産業機器、制御機器等の機械設備及び機械器具関連商品の販売並びにその他の事業であります。ただし、その他の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。